

日本消化器内視鏡学会東北支部評議員会議事録

(第 149 回例会：於 仙台市)

平成 24 年 7 月 14 日(土) 12:00pm～12:30pm

於 仙台国際センター 第二会場 (2 階:菘)

挨拶

支部長

小原 勝敏

第 149 回東北支部例会会長

下瀬川 徹先生

報告事項

(1) 事務局報告

- ・名誉会員の推戴：棟方昭博先生
- ・幹事就任：上野義之先生（山形県）2012.2～
- ・評議員の退会：佐藤 明先生（宮城県）
- ・評議員任期満了：相澤 中先生、松川昌勝先生、棟方昭博先生（青森県）、
大久保俊治先生、久保信久先生、佐伯 剛先生、向島 偕先生（秋田県）、
石川洋子先生、佐藤邦夫先生（岩手県）佐々木大輔先生（山形県）、
浅木 茂先生、市川恒次先生、伊東正一郎先生、大槻昌夫先生、金 敏夫先生、
白根昭男先生、鈴木勃志先生、千葉正道先生、中野 昇先生、山形 倫先生（宮城県）、
斎藤行世先生（福島県）
- ・評議員の異動：遠藤俊吾先生（関東支部より福島県へ転入）、
小島敏明先生（茨城県へ転出）、椎名正明先生（神奈川県へ転出）、
白木 学先生（三重県へ転出）
- ・評議員の訃報：須藤晃司先生（青森県） 黙祷

(2) 平成 23 年度東北支部収支決算、および平成 24 年度収支予算の報告（入澤 篤志）

内視鏡学会本体が一般社団法人へ移行したことに伴い計算にずれが生じた。本来 23 年度の予算額と一致しなければならないが本部の指示により 24 年度の前年度予算の金額が増え 23 年度の収支決算書と数字の乖離があることにご理解いただいた。学会事業支出の部においても雑支出が本部指示により前年度予算と記載が変更になっている点もご理解いただいた。

今回決算、平成 24 年度予算額は監事の先生方の審査を受けて本部に提出した。評議員の先生方には、事後報告になるがご理解いただいた。

(3) 理事会報告

理事会：2012.4.11、6.22（於 学会本部事務局）

- ・一般社団法人として認可（2012.3.1～）（新定款発足）

支部会則の統一化（東北支部会則の改訂）

「支部長、支部幹事、支部評議員が満 66 歳に達した場合は、その後に到来する春の社団評議員会の終結の時をもってその資格を失う。」

支部評議員の資格の喪失

「特別の事由なく支部評議員会を 4 回以上連続して欠席したとき」

特別の理由がある場合は別だが、今後厳しくなるので4回連続して欠席しないようにお願いした。

- ・ 社団評議員選考規則（資格）：（支部長推薦方式）候補者選出 12月25日まで
社団評議員選考委員会及び理事会の審議を経て選考される
 - * 本学会の正会員として10年以上継続している
 - * 本学会の学術評議員及び支部評議員であること
 - * 本学会の消化器内視鏡専門医の取得者であること
 - * 本学会の会費に未納がないこと
 - * 社団評議員候補者の立候補時の年齢が満62歳未満であること
 - * 本学会学術集会において、消化器内視鏡に関する論文等を継続的に発表し、かつ、直近の5年以内に本学会及び他学会等の学術誌に、消化器内視鏡に関する論文を発表していること
 - * 原則として、直近の5年以内に次の条件のいずれかに該当していること
 - ① 本学会学術集会においてシンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、特別講演又は教育講演等に演者として参加していること
 - ② 本学会において司会又は座長を務めていること

東北支部は18のポストがあり現在、社団評議員が8名いる。10のポストが空いているので選考規則を読み、資格がある方は支部長まで連絡するようお願いした。
- ・ ガイドラインの作成について
内視鏡学会では、現在4つのガイドラインを作成中である。①胃癌に対するESD・EMRガイドライン、②食道癌に対するESD・EMRガイドライン、③抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン（Gastroenterol Endosc 7月号に掲載予定）、④内視鏡診療における鎮静に関するガイドライン。
- ・ 消化器内視鏡専門医の認定に関する事業
 - * 第17回専門医学術試験
平成24年7月14日（土）日本都市センター
 - * 2013年度以降の専門医更新時にセミナー必修化（学会セミナーまたは支部セミナーへの出席1回5点以上）
- ・ 学術集会
 - * 第83回日本消化器内視鏡学会総会（会長：小原勝敏）
平成24年5月12日（土）～14日（月）（グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール）
 - * 第84回日本消化器内視鏡学会総会（会長：高橋信一先生）
平成24年10月10日（水）～13日（土）（神戸国際展示場・ポートピア・神戸国際会議場）
 - * UEGW

平成 24 年 10 月 20 日～24 日 アムステルダム

*APDW2012

平成 24 年 12 月 5 日～8 日 バンコック (タイ)

*第 85 回日本消化器内視鏡学会総会 (会長: 春間 賢先生)

平成 25 年 5 月 10 日 (金)～12 日 (日) (国立京都国際会館)

・学会セミナーおよび臨時学会セミナー

*第 37 回学会セミナー (会長: 金城副則先生) 第 85 回総会時開催

*臨時学会セミナー・東京会場 (会長: 松川正明先生)

平成 24 年 8 月 18 日 (土)～8 月 19 日 (日) (ベルサール新宿グランド)

*臨時学会セミナー・近畿会場 (会長: 明石隆吉先生)

平成 24 年 8 月 18 日 (土)～8 月 19 日 (日) (神戸ポートピアホテル)

*第 32 回重点卒後教育セミナー (会長: 天野祐二先生)

平成 24 年 9 月 23 日 (日) (東京コンファレンスセンター)

*支部セミナーの開催要項について

関東支部は年 2 回、その他の支部は年 1 回 1 日開催

・学会本部事務局の移転

8 月 6 日 (月) タイメイビルから新御茶ノ水アーバントリニティビルへ

(4) 専門医制度支部審議会 (支部委員: 福田眞作先生) (平成 24 年 5 月 25 日、於盛岡)

東北支部における指導医・指導施設・専門医更新の審査結果

*専門医 32 名/33 名 (1 名は研修期間が 1 ヶ月不足で不合格)

*指導医 10 名/10 名 (全員合格)

*新規指導施設 2/2 施設 (全施設合格)

*継続指導施設 18/19 施設 (1 施設は専門医の数が不足し辞退)

*昨年震災特例により留保された 2 病院について

石巻市立病院は再興が未定ということで辞退。

鹿角総合病院は 8 月から常勤医が派遣されるということで、9 月の審議会で継続をお願いしたいと思っている。

(5) 第 149 回東北支部例会

会長: 下瀬川 徹先生 (東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野)

プレナリーセッション「めざせ! 消化器内視鏡専門医」19 題、シンポジウム 23 題、一般演題 49 題 (計 91 題)、特別セミナー、ランチョンセミナー。

(6) 今後の支部例会、東北セミナーの予定

・第 24 回東北支部セミナー (委員長: 福田眞作先生)

会長: 牧野直彦先生 (山形大学消化器内科)

日時: 平成 25 年 1 月 20 日 (日) (山形テルサ)

・第 150 回東北支部例会

会長: 木内喜孝先生 (東北大学消化器内科・保健管理センター)

日時: 平成 25 年 2 月 8 日 (金) 於 仙台国際センター (仙台市)

・第 151 回東北支部例会

会長： 三上達也先生（弘前市立病院消化器内科）

日時：平成 25 年 7 月 13 日（土） 於 弘前文化センター（弘前市）

・第 152 回東北支部例会

会長： 福田眞作先生（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科）（仮）

日時：平成 26 年 2 月 7 日（金） 於 仙台国際センター（仙台市）

（7）その他

内視鏡学会の評議員名簿について

評議員名簿を作成中で今年つくる予定だったが、新しい定款ができたことに伴い来年に持ち越しとなった。来年には評議員名簿をつくる予定。

協議事項

（1）新評議員の選出

候補者氏名	現 職	入会年	推薦者
猪股芳文	J R 仙台病院 消化器科	2002 年	大原秀一

幹事会において支部評議員として選出されたが、評議員会においても、評議員として選出された。

（2）その他

東北支部会則の変更に伴う支部幹事の入れ替えについて

幹事会で支部の幹事を一人増やすことが決定した。青森県、福島県、岩手県から監事をもう一人推薦してもらおう。その他の県は、1、2 年おいて推薦してもらおう。

福島県からは既に推薦しており、福島医大会津医療センターの入澤篤志先生をお願いした。

優秀演題賞の授賞式（5 名）：上位 3 名は平成 25 年春の総会（第 85 回総会）に招待します

第 149 回東北支部例会会長から優秀演題に選ばれた、福島県立医大消化器・リウマチ膠原病内科学の高住美香先生、東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野の本田純也先生、東北大学の中川健一郎先生、福島県立医大の柏木真人先生、東北労災病院胃腸科の玉淵泰史先生の 5 名の方に表彰状と賞金を授与した。

感謝状の贈呈

第 149 回東北支部例会会長 下瀬川 徹先生に支部長から感謝状が贈呈された。